



# ntersections

**2022 PROGRESS REPORT**  
ダウの「目指す姿」に向けて

# 要旨：ダウの「目指す姿」に関する進捗報告

ダウの2022 INtersections Progress Report on Advancing Our Ambitionは、ダウの目指す姿とパーパスを行動で示すものです。ダウの環境、社会、ガバナンスといった優先事項は、常にダウの目指す姿とパーパスに根ざしています。各要素の組み合わせにより、長期的な価値創造を引き出し、業界最高のパフォーマンスを実現することができます。2023年6月19日に公開された当社の年次INtersections リポートは、お客様、従業員、株主、地域社会に価値を提供する中で、ダウのチームが当社の業績とよりサステナブルな世界の両方に積極的に貢献していることを示しています。また、ダウのチームがイノベーション、サイエンス、パートナーシップ、そして情熱をどのように行動に反映しているかを、ご紹介しています：

- ・ 2050年までにカーボンニュートラルを実現するというコミットメントを推進する
- ・ 私たちがサービスを提供する市場の循環性と持続可能性を向上させる
- ・ インクルーシブで多様性に富み、説明責任を果たす文化を育む
- ・ 地域社会の発展と福祉に積極的に貢献する

- ・ この包括的な報告書は、財務目標や財務報告を補足する5つの戦略的分野、目指す姿に沿った行動と説明責任をどのように進めているかを総合的に紹介しています。**環境保護、インクルージョン、多様性と公平性、健康と安全、地域社会への影響、コーポレート・ガバナンス**などを含みます。
- ・ この報告書は、**19年間にわたる自主的なサステナビリティ報告と、5年間にわたるインクルージョン&ダイバーシティのリポートに基づいています**。2022年12月31日時点のダウのパフォーマンスを反映しています。
- ・ リポートは[www.dow.com/progress-report](http://www.dow.com/progress-report)からアクセスできます。
- ・ 2022年INtersectionリポートには、**グローバル・レポーティング・イニシアチブ（GRI）基準および温室効果ガス（GHG）プロトコル**に従って作成された開示が含まれています。また、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の勧告に従ったダウの気候関連のパフォーマンスと戦略に関する開示も含まれており、持続可能性会計基準審議会（SASB）の化学セクターに関する基準および世界経済フォーラム（WEF）のステークホルダー資本主義評価基準の開示も参照しています。



ビジョン、戦略、  
ビジネス



環境  
パフォーマンス



健康  
安全



インクルージョン、  
多様性と公平性



コミュニティ



コーポレート  
ガバナンス



レポート  
ディスクロージャー

**DOW**<sup>®</sup>

**パーパス**

素材科学の専門知識とパートナーとのコラボレーションを通じて世界にサステナブルな未来を築く

**目標**

価値の成長、業界トップのパフォーマンス

**目指す姿**

世界で最もイノベティブ、顧客本位、インクルーシブでサステナブルな素材科学会社

OUR AMBITION IN ACTION

サービスを提供する市場の持続可能性と循環性を向上

地域社会の発展と福祉（ウェルビーイング）に積極的に貢献

インクルーシブで多様性に富み、説明責任を果たす文化を醸成

ACCOUNTABLE FOR OUR PERFORMANCE & PROGRESS

環境指数

● **健康、安全& ウェルネス**

● **インクルージョン、ダイバーシティ& イクイティ**

● **コミュニティ**

● **企業統治**

景気循環の波を通じた財務目標

2030年までに基礎的EBITDAを30億ドル以上増加

業界トップクラスの現金創出を維持

13%以上のROIC

当期純利益の65%を株主に還元

2.0x - 2.5x 調整後有利子負債対EBITDA<sup>1</sup>

<sup>1</sup> ムーディーズの格付け手法に基づく

# 2022年の進捗状況: 環境パフォーマンス

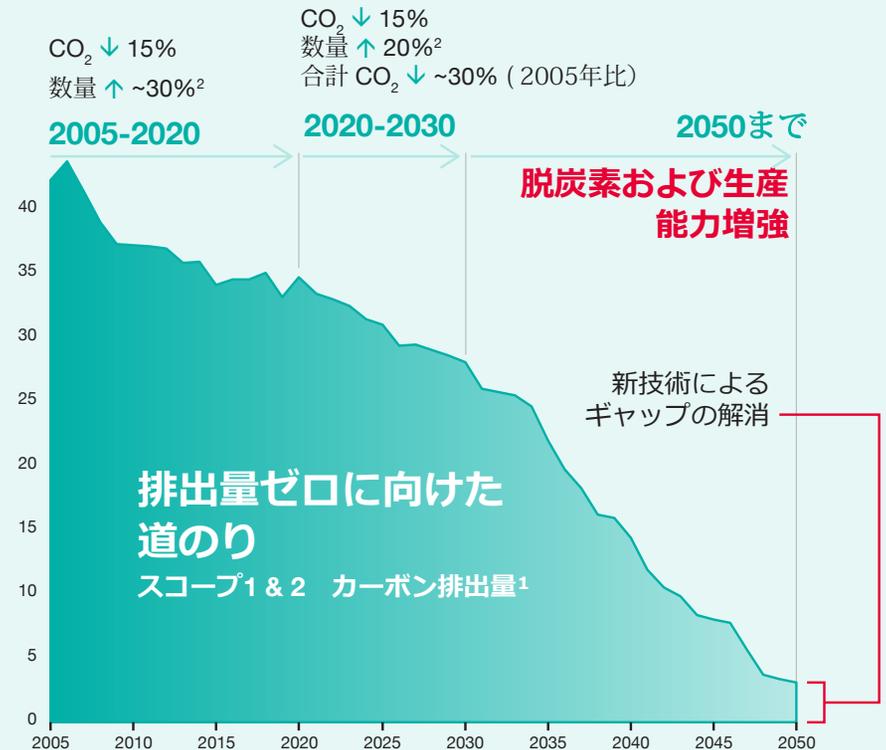
## 気候保護

私たちには、2050年までにカーボン・ニュートラルを達成するための明確なロードマップと投資計画があります。同時に循環型製品へのお客様の需要の高まりにも応えていきます。

### 2022年のアクション

- カナダ、アルバータ州のフォート・サスカチュワンにおける**世界初の炭素排出量ネットゼロのエチレンラッカーおよび誘導品一貫製造施設**の建設計画が進捗。フロントエンドエンジニアリングと設計サービスにFluorを、クリーンな水素と窒素を供給する産業パートナーとしてLindeを選定。
- UNIFINITY™ 流動接触式脱水素法 (FCDh)** の試験運転開始。パイロットプラントを米国ルイジアナ州に建設、従来の設備よりGHG排出量を20%削減。
- 再生可能エネルギーへのアクセスを**1千MW超**に拡大、2025年目標値を上回る。
- X-エナジーとの共同プロジェクトを発表**。ダウの米国テキサス州シードリフト拠点において、カーボンゼロを可能にする先進小型原子炉技術を設置計画。
- ダウで最も排出量の多い25工場について、二酸化炭素排出量削減計画を策定。耐用年数を迎える炭素集約度の高い設備をより炭素効率の高い技術へと置き換え、循環型水素や炭素回収・貯留を含む炭素削減技術に投資。

### 脱炭素と成長の両立に向けた明確な道筋



#### 短期

2025年までに、炭素排出量を2020年のベースラインより200万トン削減する計画

#### 中期

2030年までに、ダウは2020年のベースラインと比較して、正味の年間炭素排出量を500万トン削減（15%削減）または2005年比で30%削減。

#### 長期

2050年までに、カーボンニュートラル（スコープ1+2+3+製品を通じた効果）を目指す

# 2022年の進捗状況: 環境パフォーマンス

## 循環型経済（サーキュラーエコノミー）

ダウは、プラスチック廃棄物をなくし、よりサステナブルな循環型製品に対するお客様の高まる需要にお応えするため、素材科学に関する専門知識と循環型イノベーションおよびパートナーシップへの投資を通じて尽力しています。2022年、ダウはTransform the Waste（廃棄物の転換）目標を発表し、当社の戦略を加速させる重要な一歩を踏み出しました。この目標を達成するため、ダウはバリューチェーン全体のステークホルダーと協力し、主要技術、インフラ、戦略的パートナーシップに投資することで、プラスチック廃棄物を回収、再利用、リサイクルするための材料エコシステムを構築しています。これらの投資により、ダウはより多くのプラスチック廃棄物を循環システムに戻し、循環型・低炭素排出ソリューションのスケールアップを目指します。



### 2022年のアクション

- **Transform the Waste（廃棄物の転換）目標を更新。**  
2030年までに、ダウはプラスチック廃棄物やその他の代替原料を変換し、年間300万トンの循環型・再生可能なソリューションを商業化
- **ミュラ・テクノロジー社との提携により、2030年までに600KTAのアドバンスド・リサイクル能力を米国、欧州に追加する計画を拡大。**
- **WMとの新たな提携を開始し、米国の一部市場で消費者がリサイクルが困難なプラスチックフィルムを直接リサイクルできる仕組みを構築。**
- **再生プラスチックを最大70%配合したREVOLoop™ Recycled Resinの新グレード12種類を商品化。**

## Transform the Waste 廃棄物の転換

2030年までに、ダウはプラスチック廃棄物やその他の代替原料を変換し、年間300万トンの循環型・再生可能なソリューションを商業化

### 私たちのアプローチ

材料のエコシステムを構築			Close the Loop 循環を作る
メカニカルリサイクル	アドバンスド（ケミカル）リサイクル	バイオ由来材料	リサイクル性を前提にした設計
多角的なバリューチェーン・パートナーシップを通じて、廃棄物の転換を可能にする			2035年までに、ダウが販売する包装用途のすべてを再利用またはリサイクル可能にする貢献を通じて「サーキュラーエコノミー（循環型経済）」を実現

ダウはClose the LoopとTransform the Wasteの測定基準を継続的に改善しています。これらの指標、特にClose the Loopは、ダウ社内でも、また業界全体でも、成熟の初期段階にあります。その指標は、二次市場調査データと、包装用途の地域別内訳、各用途のポリエチレン市場規模、地域別リサイクル可能性ガイドラインの遵守状況を推定する一連の社内仮定に基づいています。ポリエチレンは単体ではリサイクル可能ですが、当社のお客様では、リサイクルできない可能性のある多層構造に組み込まれることがしばしばあります。そのため、ダウはお客様やブランドオーナーのために、高性能かつリサイクル可能なパッケージング・ソリューションの再設計と創造に取り組んでいます。ダウの方法では、ダウ・パッケージング・アンド・スペシャリティ・プラスチック事業部のポリエチレン製品の開発、および（ダウの関与の有無にかかわらず）新しい包装形態の公表または商品化に基づいて、リサイクル可能な用途が「可能になった」とカウントします。Close the Loopの指標は世界の業界ポリエチレンを対象としており、ダウや他の業界参加者が包装材として販売する他の材料は考慮されていません。

# 2022年の進捗状況: 環境パフォーマンス

## 2025年サステナビリティ目標

2015年に開始したダウの2025年サステナビリティ目標は、持続可能性を日々の業務に組み込むための重要な推進力となり続けています。私たちの2025年目標は、ダウが気候保護、循環型経済、より安全な材料といった優先事項において、私たちの業界で指導的な役割を果たすための基盤を整えました。さらに、目標から得られた学びは、「Transform the Waste (廃棄物の転換)」目標や生物多様性戦略、より安全な素材戦略など、次世代の戦略に役立っています。



### LEADING THE BLUEPRINT

青写真（ブループリント）の策定において先導的な役割を担う

キーストーン・ポリシー・センターを通じて、ブループリント思考ツールキットの共有を継続



### DELIVERING BREAKTHROUGH INNOVATIONS

画期的なイノベーションを実現

イノベーション・ポートフォリオの87%超がサステナビリティの成果に貢献

**8件のエジソン賞**  
**および 6件のR&D 100 賞を受賞**



### ADVANCING A CIRCULAR ECONOMY

循環型経済を促進

主要市場で資源を循環させるソリューションを提供する目標に対し、これまでに6つの主要循環型プロジェクトのうち4つを実施



### VALUING NATURE

自然の価値を高く評価

自然を強化するビジネス主導型プロジェクトによる正味現在価値10億ドルの達成目標に対して**77%**近くを達成

目標開始以来**7億6600万ドル**の正味現在価値を実現



### SAFE MATERIALS FOR A SUSTAINABLE PLANET

サステナブルな地球のための、安全な素材

製品の安全性を高めるため、ダウの**4つめのコラボレーション**として Beyond Benign を選定し、第1回グリーンケミストリー教育チャレンジ賞創設に向けて提携



### ENGAGING FOR IMPACT: COMMUNITIES, EMPLOYEES, CUSTOMERS

地域社会、従業員、顧客を巻き込んだインパクト

ダウの従業員の**52%**がボランティア活動を行ったと回答。従業員体験（EX）指標の向上に関連



### WORLD-LEADING OPERATIONS PERFORMANCE

世界トップクラスの操業

**重大輸送事故ゼロ**達成

健全な企業文化指標に対する実績が2025年目標を上回る

2つの目標を2年前倒して達成：「ブループリントの策定において先導的な役割を担う」、「画期的なイノベーションを実現」

# 健康と安全

2022年には、主要分野における安全衛生の実績を向上させ、特にプロセス安全管理（PSCE）など、必要に応じた計画外事象を削減するための改善プログラムを開始しました。

## 2022年の進捗

- **50年で最長の死亡事故ゼロ記録。**  
2022年12月2日現在、977日間死亡災害ゼロを達成。
- **Total Worker Health® (TWH®) 指数**  
の社内目標を上回り、2025年までに100%を達成する軌道に。
- **モバイルアプリのダウ・ウェルビーイングポータル**を開始。従業員の65%以上が初年度に登録し、アプリ利用者の33%が睡眠と食生活の改善を通じてエネルギーレベルが向上し、職場内外で生産性の向上を実感したと回答。
- **ドローン、パイプクローラーおよび関連技術を活用し、1,500を超える閉鎖空間での利用を実現**、従業員の安全性を向上。

危険性の特定、評価、除去、または最小化



危険行為やその状態を防止



従業員やサポートスタッフの健康と福祉、健康増進を確保



健康、安全に関するコミュニケーションを強化



# インクルージョン、ダイバーシティ & エクイティ (ID&E)

2022年、ダウのID&E戦略であるALL IN 2025は、インクルージョンを主導し、ダイバーシティに重点を置き、イクイティ（公平性）を実務、方針、プロセスに組み込むことに重点を置きました。

人材	サプライヤー	従業員リソースグループ (ERGS)	コミュニティ	レピュテーション
米国の少数民族（27.5%）、世界の女性比率（29.5%）、世界の指導的役割にある女性（36.3%）など、 <b>労働力の多様性を改善。</b>	目標を上回る、約2億7500万ドルにのぼる多様性あるサプライヤーからのグローバル購入額を達成。	世界の <b>57.3%</b> の社員が、10のERG（エンployee・リソース・グループ）のうち、少なくとも1つに参加、業界最高基準を達成。	米国において今後10年で黒人人材のアップスキル、雇用、採用に向けて取り組む <b>OneTen</b> とのパートナーシップを通じ、 <b>250人</b> を採用し、 <b>60人</b> の家族を扶養できる職に昇格。	2022 <b>DiversityInc</b> の <b>Top 50 Companies for Diversity</b> リスト（15位）および <b>People 100 Companies That Care</b> リストに選出されるなど、ID&Eのリーダーとして社外からの高評価を獲得

## ALL IN 2025 戦略



# コミュニティ

2022年、ダウとダウ・カンパニー基金は、当社の地球市民としての活動の優先事項に沿った戦略的投資、影響を与える従業員の参画、グローバルおよび地域のコミュニティ組織との提携を通じて、積極的な社会変革を推進し、グローバルな課題に取り組みました。

## 地球市民としての注力分野



### サステナブルな未来への推進

- 「プロジェクト・リフレックス」を、ナイジェリアでの試験的成功の後、エジプトとニューギニアに拡大。
- 軟質プラスチックを環境から転換する取り組みであるこのプロジェクトにより合計**599トン**の材料がリサイクルされ、埋め立て地に送られることから回避、また**50人**の雇用を創出。



### インクルーシブなコミュニティの構築

- ダウの**ALL IN ERG**ファンドを通じて、世界**25カ国**で**53**のプロジェクトを支援するため、2019年以降**110万ドル**を拠出。このファンドは、ダウの10のERGの情熱、視座、専門知識を活用することで、世界中のダウの地域社会を支援することを目的とする。
- この基金が発足して以来、**3042人**が社会的ネットワークと支援を獲得し、**481人**が安全で包括的な生活を実現し、**505人**が仕事を獲得または継続し、**1563人**が学業で成功を収める。



### 明日のイノベーターを育てる

- 強靱な製造業人材の構築を支援する「**Creators Wanted**」キャンペーンへのコミットメントを200万ドルに倍増。
- **Creators Wanted**とのパートナーシップは、**100万人の学生**や**キャリア指導者**が製造業のキャリアについて学ぶために登録することに貢献し、**75%の学生**が没入型体験後、現代の製造業のキャリアに対する見方が大幅に向上したと回答。



### コミュニティとのコラボレーション

- **DonorsChoose**と協力し、インクルージョン、多様性、公平性、帰属意識を促す257の教室プロジェクトのための教材を、全米のダウが操業する地域における教師に提供する**キャンペーンを開始**。



### 従業員の参加による影響力

- ダウの**Global Serve-a-Thon**の一環として、**3500人**以上のダウチーム**ボランティア**が約9千時間を提供し、150のプロジェクトを通じて**24カ国**における地域社会のニーズに取り組む。

# ガバナンス

ダウは、強力な企業統治が説明責任と透明性を強化し、当社に対する信頼を築き、適切な意思決定を促進することにより、株主に長期的な価値を生み出すと考えます。

## 2022年 ハイライト

環境・社会・ガバナンス（ESG）の進展と企業リスク管理に関する取締役会の構造的な監督と責任をさらに強化

気候に関する説明責任を強化し、定量化が可能なGHG削減指標を長期的な報酬指標に加える

S&P500の水準を引き続き上回り、当取締役会の33%は女性で、33%は米国の少数民族

ESG報告・開示の水準を高め、スコープ3の目標設定に向けて、方法論と情報開示を進める

サイエンス・ベース・ターゲット・イニシアチブ（SBTi）と協力して、化学分野に特化した脱炭素化ガイドラインを策定



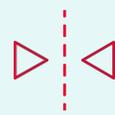
強力なガバナンスを実践する**独立取締役会**  
明確な役割と実質的責任を有する独立した**リード・ディレクター**



経歴、関連スキル、経験などのバランスの取れた**多様な取締役会の保持**



株主、顧客、サプライヤー、地域社会、従業員など、**さまざまな利害関係者との定期的な意見交換**



取締役会の監督と責任を明確にした上で、企業のリスクと機会に関する最大の分野に**戦略と目標を整合**



事業および環境、社会、ガバナンスの優先事項をサポートする報酬プログラムの設計



効果的な行動規範と倫理プログラムを通じた、**誠実な企業文化の確保**

# ダウの「目指す姿」に向けたアクション: 2022年ハイライト

目指す理想に向けて、ダウのチームの情熱に支えられながら、私たちは、会社、株主、社会のために長期的な価値を創造することに注力しています。



ダウで最も排出量の多い25拠点について、**スコープ1および2の二酸化炭素排出削減計画を策定**



**Transform the Waste (廃棄物の転換) 目標** を公表、プラスチック廃棄物やその他の代替原料を交換し、年間**300万トン**の循環型・再生可能なソリューションを商業化



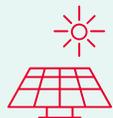
**ミュラ・テクノロジー社との提携**により、2030年までに最大**600KTA**のアドバンスド・リサイクル能力を追加する計画を拡大



研究開発プロジェクトの**87%以上**が、ダウのサステナビリティ重点分野に合致



長期的な報酬指標に温室効果ガス排出削減目標を追加し、**気候変動に対する説明責任を強化**



**再生可能エネルギーへのアクセス**を1千MW超に拡大、2025年までの目標を前倒して達成



**X-エナジーとの共同プロジェクトを発表**。ダウの米国テキサス州シードリフト拠点において、カーボンゼロを可能にする先進小型原子炉技術を設置計画。



再生プラスチックを最大**70%**配合した**REVOLoop™ Recycled Resinの新グレード12種類**を商品化。



2つの2025年サステナビリティ目標を**2年前倒して達成**: 「ブループリントの策定において先導的な役割を担う」、「画期的なイノベーションを実現」



**S&P500の水準を引き続き上回り**、当取締役会の**33%**は女性で、**33%**は米国の少数民族。



世界の**57.3%**の社員が、10のERG (エンプロイヤー・リソース・グループ) のうち、少なくとも1つに参加、**業界最高水準を達成**



**労働力多様性が改善**、米国の少数民族 (**27.5%**) および世界での女性比率 (**29.5%**)



地域密着の解決策を通じ、**4万人**の生徒が学業で成功を収め、**13万6千人**が安全で肯定的かつ包括的な環境にアクセス



**ダウ初のGlobal Serve-a-Thonの一環として**、**3500人以上**のダウチームボランティアが約**9千時間**を提供し、**150**のプロジェクトを通じて**24カ国**にわたる地域社会のニーズに取り組む



**目標を上回る**、約**2億7500万ドル**にのぼる多様性あるサプライヤーからのグローバル購入額

2050年までにカーボンニュートラルを実現するアクションを推進

サービスを提供する市場の循環性とサステナビリティを向上

インクルーシブ、多様で説明責任のある文化を醸成

地域社会の発展とウェルビーイングに積極的に貢献



**Dow Inc.**

Midland, MI 48674 U.S.A.

FESGRPT@dow.com

corporate.dow.com

Form No. 066-00442-42-0623

本資料はDow 2022 Progress Report Executive Summaryの抄訳です。当資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先されます